

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月29日

上場会社名 株式会社ショーワ 上場取引所 東
 コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 北條 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 真野 洋介 TEL 048-554-1151
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	120,952	19.6	7,353	230.6	7,407	201.6	4,909	—
24年3月期第2四半期	101,150	△14.8	2,224	△52.3	2,455	△36.1	△847	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,648百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 109百万円 (△2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	64.63	—
24年3月期第2四半期	△11.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	150,349	83,243	46.9	928.51
24年3月期	155,540	81,010	43.2	884.61

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 70,536百万円 24年3月期 67,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 配当予想の修正については、本日（平成24年10月29日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,000	7.9	12,500	66.5	13,000	77.4	7,000	174.6	92.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 連結業績予想の修正については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	76,020,019株	24年3月期	76,020,019株
25年3月期2Q	52,800株	24年3月期	52,634株
25年3月期2Q	75,967,301株	24年3月期2Q	75,967,433株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から9月30日までの6ヶ月間）の売上高は、二輪車用製品の販売は、主にブラジルおよびインドネシアにおける金融規制の影響により減少しましたが、四輪車用製品の販売は、主に日本における震災からの復興やエコカー補助金による需要の増加および北米やアジアにおける好調な自動車市場に牽引され増加し、1,209億5千2百万円と前年同四半期に比べ19.6%の増収となりました。また、利益につきましては、売上変動・構成変化などにより、営業利益は、73億5千3百万円と前年同四半期に比べ230.6%の増益、経常利益は、74億7百万円と前年同四半期に比べ201.6%の増益、四半期純利益は、49億9百万円（前年同四半期は四半期純損失8億4千7百万円）となりました。

事業セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社グループは、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

<二輪・汎用事業>

二輪・汎用事業の売上高は、395億5千7百万円（前年同四半期比3.6%減）となり、営業利益は、38億3千2百万円（前年同四半期比24.6%減）となりました。

<四輪事業>

四輪事業の売上高は、487億2千万円（前年同四半期比39.5%増）となり、営業利益は、18億4千1百万円（前年同四半期は営業損失15億2千3百万円）となりました。

<ステアリング事業>

ステアリング事業の売上高は、449億4千3百万円（前年同四半期比21.6%増）となり、営業利益は、9億5千1百万円（前年同四半期は営業損失16億2千2百万円）となりました。

<ガスピリング事業>

ガスピリング事業の売上高は、29億4千3百万円（前年同四半期比23.6%増）となり、営業利益は、1億7百万円（前年同四半期は営業損失1億3千4百万円）となりました。

その他

その他の売上高は、66億4千6百万円（前年同四半期比34.3%増）となり、営業利益は、4億4千6百万円（前年同四半期比47.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,503億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億9千1百万円減少しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

<流動資産>

流動資産は814億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億9千3百万円減少しました。これは主に有価証券、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の減少によるものです。

<固定資産>

固定資産は688億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億9千7百万円減少しました。これは主に有形固定資産の減少によるものです。

<流動負債>

流動負債は491億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億3千万円減少しました。これは主に短期借入金の減少によるものです。

<固定負債>

固定負債は179億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億9千3百万円減少しました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

<純資産>

純資産は832億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億3千3百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、216億4千3百万円となり前連結会計年度末に比べ10億2千4百万円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動により得られた資金は、126億5千7百万円となり、前年同四半期に比べ93億5千3百万円増加しました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産の減少によるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動により使用した資金は、28億4千7百万円となり、前年同四半期に比べ32億6千4百万円増加しました。これは主に投資有価証券の取得による支出の増加によるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動により使用した資金は、84億9千4百万円となり、前年同四半期に比べ104億2百万円増加しました。これは主に短期借入金および長期借入金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期(平成24年4月1日から平成25年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想は、東日本大震災やタイの洪水の影響からの回復が見込まれるものの、下期における中国での得意先の生産・販売の減少による影響などが懸念されるため、以下のとおり平成24年7月31日公表の業績予想を修正しています。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 243,000	百万円 12,500	百万円 13,500	百万円 7,000	円 銭 92.14
今回発表予想(B)	233,000	12,500	13,000	7,000	92.15
増減額(B-A)	△10,000	—	△500	—	—
増減率(%)	△4.1	—	△3.7	—	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期通期)	215,889	7,507	7,330	2,549	33.57

為替レートは、通期平均で、1米ドル=79円を前提にしています。

なお、中間配当につきましては、1株につき11円の予定としていましたが、本日別途公表の「剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、長期的な視点に立ち、今後の事業展開と連結業績などを総合的に勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするべく、1株につき12円とさせていただきます。

また、当期の期末配当予想につきましては、1株につき11円としていましたが、12円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は1株につき24円となり、前期から14円の増配を予定しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産（リース資産を除く）については、当社及び国内連結子会社は、主として減価償却方法を定率法（ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法）によっていましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

従来、当社及び国内連結子会社の製品は総じて新型車の立ち上がり時に受注が多く年数の経過とともに受注減少となる傾向がありましたが、近年は、受注は特定車種の売れ行きに左右された過去に比べ安定的となる傾向が強まりつつあり、かつ、主要得意先においてグローバル車種の拡充や製品・部品の共有化が進んでいます。こうした経営環境のもとで、事業方針として、海外を含む生産拠点間で柔軟に機種移管ができるよう生産ラインの汎用化を進めてまいりました。さらに当期首より事業本部制を導入し、各生産拠点で長期安定的生産を推進していくこととしました。これを契機として有形固定資産の使用状況を見直した結果、今後の設備の安定的な稼働並びに投資効果の収益に対する長期安定的な貢献が見込まれるようになりました。

これにより耐用年数にわたり均等償却による原価配分を行うことが有形固定資産の使用の実態をより適切に反映できるため、減価償却方法を定額法に変更することが合理的であると判断しました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が322百万円それぞれ増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,289	19,426
受取手形及び売掛金	32,382	32,238
有価証券	3,800	1,350
商品及び製品	5,697	4,778
仕掛品	3,202	3,415
原材料及び貯蔵品	15,725	13,792
その他	6,633	6,546
貸倒引当金	△172	△81
流動資産合計	84,559	81,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,392	15,899
機械装置及び運搬具（純額）	26,807	25,567
その他（純額）	14,211	13,489
有形固定資産合計	57,411	54,956
無形固定資産		
のれん	1,660	2,088
その他	102	94
無形固定資産合計	1,763	2,182
投資その他の資産		
投資有価証券	8,142	8,381
その他	3,680	3,379
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	11,805	11,744
固定資産合計	70,981	68,883
資産合計	155,540	150,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,952	25,485
短期借入金	11,105	7,458
未払金及び未払費用	6,562	8,602
未払法人税等	1,265	1,077
製品保証引当金	1,538	1,472
賞与引当金	2,665	2,629
その他	3,045	2,379
流動負債合計	53,136	49,105
固定負債		
長期借入金	10,812	8,383
製品保証引当金	1,124	1,081
退職給付引当金	5,985	6,325
その他	3,471	2,208
固定負債合計	21,393	17,999
負債合計	74,529	67,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	52,440	56,647
自己株式	△53	△53
株主資本合計	78,542	82,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,174	2,275
為替換算調整勘定	△14,515	△14,487
その他の包括利益累計額合計	△11,340	△12,212
少数株主持分	13,808	12,707
純資産合計	81,010	83,243
負債純資産合計	155,540	150,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	101,150	120,952
売上原価	88,556	102,242
売上総利益	12,593	18,710
販売費及び一般管理費	10,369	11,356
営業利益	2,224	7,353
営業外収益		
受取利息	396	295
受取配当金	78	60
持分法による投資利益	247	212
補助金収入	351	16
その他	124	198
営業外収益合計	1,197	784
営業外費用		
支払利息	388	247
為替差損	469	447
その他	107	35
営業外費用合計	966	730
経常利益	2,455	7,407
特別利益		
固定資産売却益	8	378
段階取得に係る差益	61	—
特別利益合計	70	378
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産廃棄損	36	76
減損損失	311	56
為替換算調整勘定取崩損	—	253
特別損失合計	348	391
税金等調整前四半期純利益	2,178	7,394
法人税等	1,529	1,959
法人税等還付税額	—	△1,051
少数株主損益調整前四半期純利益	648	6,486
少数株主利益	1,495	1,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△847	4,909

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	648	6,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,188	△899
為替換算調整勘定	624	84
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△22
その他の包括利益合計	△539	△837
四半期包括利益	109	5,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,708	4,038
少数株主に係る四半期包括利益	1,817	1,610

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,178	7,394
減価償却費	4,689	4,198
減損損失	311	56
のれん償却額	39	48
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△92
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△9	△122
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	321	353
受取利息及び受取配当金	△474	△356
支払利息	388	247
為替差損益 (△は益)	△65	△69
持分法による投資損益 (△は益)	△247	△212
補助金収入	△351	△16
有形固定資産除売却損益 (△は益)	28	△296
売上債権の増減額 (△は増加)	△532	66
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,097	2,866
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,754	△1,252
その他	△1,019	1,035
小計	4,603	13,846
利息及び配当金の受取額	594	575
利息の支払額	△417	△291
補助金の受取額	231	0
法人税等の支払額	△2,170	△2,555
法人税等の還付額	462	1,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,304	12,657

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△918	△1,555
定期預金の払戻による収入	2,404	1,239
有形固定資産の取得による支出	△2,876	△2,514
有形固定資産の売却による収入	40	577
投資有価証券の取得による支出	△1	△1,589
短期投資による支出	—	△358
短期投資による収入	3,392	1,382
保険積立金の解約による収入	—	608
子会社出資金の取得による支出	△1,605	△526
その他	△16	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	417	△2,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	419	△3,042
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,488	△2,721
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△62	△776
少数株主からの払込みによる収入	—	245
配当金の支払額	△0	△757
少数株主への配当金の支払額	△1,960	△1,442
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,907	△8,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	△303	△171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,325	1,144
現金及び現金同等物の期首残高	12,846	20,618
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△119
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,172	21,643

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)4
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	36,324	29,484	29,396	1,308	96,513	4,636	101,150	—	101,150
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注)1	4,715	5,442	7,560	1,072	18,791	311	19,103	△19,103	—
計	41,040	34,926	36,956	2,381	115,304	4,948	120,253	△19,103	101,150
セグメント利益 又は損失(△)	5,083	△1,523	△1,622	△134	1,802	303	2,106	118	2,224

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでいます。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、内部取引消去及び未実現利益消去等です。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)4
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	34,861	41,145	37,540	1,533	115,080	5,871	120,952	—	120,952
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注)1	4,695	7,574	7,403	1,410	21,084	774	21,859	△21,859	—
計	39,557	48,720	44,943	2,943	136,165	6,646	142,811	△21,859	120,952
セグメント利益	3,832	1,841	951	107	6,733	446	7,180	172	7,353

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでいます。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

3. セグメント利益の調整額は、内部取引消去及び未実現利益消去等です。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、平成24年4月より、従来の開発・生産・購買などの機能軸と製品・事業軸による「マトリックス経営体制」をさらに進化させるため、「二輪・汎用事業本部」、「四輪事業本部」、「ステアリング事業本部」および「ガススプリング事業本部」の4つの事業本部を新たに組織しました。

これに伴い、従来「日本」、「北米」、「南米」、「アジア」及び「中国」の5つを報告セグメントとしていましたが、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「二輪・汎用事業」、「四輪事業」、「ステアリング事業」及び「ガススプリング事業」の4つを報告セグメントとすることとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものです。

各セグメントの主要製品は以下のとおりです。

セグメントの名称	主要製品
二輪・汎用事業	二輪車用ショックアブソーバ、船外機用パワーチルトトリム、シリンダ、ポンプアンドモータ
四輪事業	四輪車用ショックアブソーバ、プロペラシャフト、オートマチックトランスミッション部品、デファレンシャルギヤ、その他駆動系部品
ステアリング事業	電動パワーステアリング、油圧パワーステアリング、CVTポンプ
ガススプリング事業	ガススプリング

(会計方針の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法を定率法(ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法)から定額法へ変更しています。この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は「二輪・汎用事業」で23百万円、「四輪事業」で104百万円、「ステアリング事業」で161百万円、「ガススプリング事業」で0百万円、「その他」で31百万円それぞれ増加しています。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。



平成 24 年 10 月 29 日

平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間

参考資料

(単位: 百万円未満切捨て)

			平成24年3月期 第2四半期累計 実績	平成25年3月期 第2四半期累計 実績	差異	平成24年3月期 通期 実績	平成25年3月期 通期 予想	差異
売上高			101,150	120,952	19,801	215,889	233,000	17,110
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	39,733	38,419	△ 1,314	80,706	74,730	△ 5,976
		ボート用製品	1,306	1,137	△ 168	2,652	2,510	△ 142
		計	41,040	39,557	△ 1,483	83,358	77,240	△ 6,118
	四輪事業	ショックアブソーバ	23,366	33,477	10,111	53,167	65,080	11,912
		駆動系	11,560	15,243	3,682	26,417	29,790	3,372
		計	34,926	48,720	13,793	79,585	94,870	15,284
	ステアリング事業	36,956	44,943	7,987	77,085	87,440	10,354	
	ガススプリング事業	2,381	2,943	562	5,276	5,520	243	
	その他・調整額	△ 14,153	△ 15,213	△ 1,059	△ 29,417	△ 32,070	△ 2,652	
	営業利益		2,224	7,353	5,128	7,507	12,500	4,992
事業別	二輪・汎用事業	5,083	3,832	△ 1,250				
	四輪事業	△ 1,523	1,841	3,364				
	ステアリング事業	△ 1,622	951	2,574				
	ガススプリング事業	△ 134	107	242				
	その他・調整額	422	619	197				
経常利益		2,455	7,407	4,951	7,330	13,000	5,669	
純利益・純損失(△)		△ 847	4,909	5,757	2,549	7,000	4,450	
1株当たり純利益・純損失(△)		△ 11円16銭	64円63銭	75円79銭	33円57銭	92円15銭	58円58銭	
営業利益増減要因			5,128		△ 1,388	4,992	6,380	
売上変動構成変化			5,296		△ 1,694	3,780	5,474	
労務費			△ 756		△ 1,566	△ 1,350	216	
原材料価格影響			108		△ 629	310	939	
研究開発費			△ 284		△ 418	△ 780	△ 361	
原価低減効果等			886		2,706	2,610	△ 96	
減価償却費			487		267	1,060	792	
為替影響			△ 610		△ 53	△ 638	△ 584	
研究開発費		2,832	3,113	281	5,880	6,662	781	
設備投資		2,241	2,306	65	5,134	8,450	3,315	
減価償却費		4,689	4,198	△ 490	9,777	8,200	△ 1,577	
総資産		153,688	150,349	△ 3,338	155,540			
純資産		79,694	83,243	3,549	81,010			

個別業績

	平成25年3月期 通期 前回予想	平成25年3月期 通期 今回予想	差異	平成24年3月期 通期 実績
	売上高			110,000
営業利益		2,100		△ 428
経常利益		6,200		5,254
純利益・純損失(△)		6,200		4,883

※営業利益増減要因の各増減金額は、前年同期を替レートで換算しており、当期が替レートとの換算差は、「為替影響他」に含めています。